



府中市

かんきょう活動センターだより 令和3年度冬号



カンツバキ

【ツバキ科】

ツバキとサザンカを交配して作られた園芸種。厳冬期に庭や公園、道路の脇で鮮やかな花を咲かせるカンツバキは暖かさを感じさせてくれる最も身近なツバキです。

一番多いのは、赤やピンクの八重咲や獅子咲きで、まれに白い花や一重咲きも見られる。

花言葉は「愛嬌」「謙譲」「申し分ない愛らしさ」で12月8日、12月10日の誕生花

▲府中公園で撮影

環境保全活動センター開設10周年

■もとめられる環境保全活動センターは (環境保全活動センター検討調整会委員長 室 英治)

府中市環境保全センターは2011(平成23)年12月1日に開設され、今年で10年になり、市民・事業者・行政のパートナーシップの拠点として、府中市環境基本計画を実現するための活動が期待されています。

府中市かんきょう活動センターだより39号で、市長が述べられているように、府中市環境基本計画の方針に基づいて、人も自然も生き生きする環境都市府中を実現するため「浅間山自然保護会」、「府中かんきょう市民の会」、「ひな草の会」、「かんきょう塾ネット」等各種市民団体、各種市内企業との協働により、諸活動を展開してきています。活動事例としては、活動センターだより等環境情報の発信、府中環境まつり、打ち水、エコクッキング等環境イベントの実施、市内小中学校への出張環境学習支援、環境学習資料の作成、府中かんきょう塾を中心とした市民に対する環境学習、啓発活動をしてきました。また、環境活動をより充実させるため組織体制の拡充につながる調査提案活動も展開していま

す。センターはサポーターによる3分科会と検討調整会で構成されて活動しています。COP26が11月13日に閉幕して、先進国と開発途上国を含めた国際的な地球温暖化に対する取り決めがなされ、気温上昇1.5℃以下に抑える目標や、そのための化石燃料の使用削減努力等に関する合意がなされましたが、実行面では国際的な課題が山積していることも明らかになりました。府中市としても地球温暖化対策地域推進計画を2011年3月に作成して、2022(令和4)年までに2013(平成25)年比13%削減の活動を展開しています。政治学者の香山健一氏は21世紀の日本の国家目標は自然と人工の調和、暖かい人間関係、豊かで自由で多様な文化を持つ日本型田園都市国家の実現と述べられていますが、府中市はまさにその田園都市にふさわしい要件を兼ね備えたところだと思われます。スペインのバルセロナは1992(平成4)年のオリンピックやアントニン・ガウディの聖母子協会



▲検討調整会議

2020(令和2)年に発表した「気候非常事態宣言」が有名で、フィアレス・シティ(国家が押しつける新自由主義的な政策に反対する革新的な地方自治体のことで、国家、大企業に対して住民のために行動する都市。アムステルダム、パリ等の世界の都市が参加)の先頭都市で、2050(令和32)年までに脱炭素化という目標を掲げて市民中心の活動を展開しています。行動計画には二酸化炭素排出量削減のために都市の緑化、電力や食の地産地消、公共交通機関の拡充、ゴミの削減、リサイクル等多方面にわたる改革プランを掲げています。多摩地方の中核田園都市である府中市においても環境都市にふさわしい十分な活動が求められ、その中核の一つとして活動センターが一段と強力に機能していくことが期待されています。

活動センターと関連団体協働報告

■かんきょう塾とかんきょう塾ネットについて (かんきょう塾 ネット 塚原 仁 氏 寄稿)

かんきょう塾は、平成13年第1回開始から20回、令和4年度21周年を向えます。

第1回講座は府中市の環境担当と東京都エコリーダー資格を有するメンバー有志で、平成13年6月から9月まで8回の企画運営会議をもち講座の企画から実施まで取り纏め9月に受講者40名で毎月2講座8回の「府中市エコリーダー養成講座」としてスタートしました。

〔講座の目的〕は「府中市の環境学習活動や環境保全活動において、その中心となり、取り組みを積極的に指導する地域のリーダーを育成する」というものでした。

現在まで継続している講座は「府中市環境基本計画」を意識し、「自然環境」「生活環境」「都市・文化環境」「低炭素・循環型社会構築に関わること」等から座学だけでなく自然散策・環境施設訪問等外へ出るカリキュラムも絡めて企画・運営されています。

スタート後平成17年からは講座修了生が企画運営に加わり「府中かんきょう塾講座」として5月開講の月1回講座8回開催にレベルアップされました。また、平成25年からは「親子かんきょう塾」として夏休みの「富士山バスツアー」「森キッズクラフトデイ」といった子供たちにも自然と親しみ環境意識を啓発するカリキュラムを増やしてきました。

一方、「かんきょう塾ネット」は平成18年に府中市かんきょう塾講座修了生で「かんきょう塾講座」の企画・運営を担当しているメンバー

が中心となり設立されました。現在は「環境保全活動センターのサポーター団体」としてかんきょう塾講座の企画・運営に府中市と協働して活動しています。

また、得意種目「葉っぱプリント」を持ち環境まつり、市民協働まつり、ふれあい子供まつり等のイベントに参画し皆さんに楽しんでいただいております。



▲かんきょう塾講座

関連団体の環境学習活動

■近隣小・中学校の地域貢献

(浅間山自然保護会 山田 義夫 氏 寄稿)

浅間山自然保護会の浅間山保護活動の一環として、創設以来40年、春秋の年2回全山清掃を実施しています。浅間山の整備がすすみ、環境が整ってくるに従い参加者が少なくなってきた矢先、若松小学校でPTAを中心に浅間山班が組織され、毎回70~80人の親子が参加しています。主な作業は草刈りが中心です。草を刈りながら草花の名前や、昆虫の名前を教えたり、枯れ木や倒木があれば親子共同作業で伐採したりしています。保護会ではそのお礼にヤマユリの鑑賞会、ダイヤモンド富士の鑑賞会に招待して楽しんでもらっています。

浅間中学校は若松小学校にやや遅れて参加してくれました。中学校ではこの行事を学校の伝統にしたいと伺ったことがあり感動しました。

中学校では生徒たちの自主性を重視して、生徒会が中心となって運営しています。毎回150~



▲浅間中学校の保全活動

200人の参加があり、浅間山に関心のある生徒が多いことがうかがえます。

草刈りは単に草を刈ってきれいにするのが目的ではなく環境保全、生物多様性維持のため重要な仕事であることを理解してもらえればと思っています。

中学校では、「ふるさと学習」として、1年生の総合学習の時間に取り組むことにしました。しかし、コロナ感染に伴い延期されています。早期実現がのぞまれます。

■市内小学校での環境学習 (府中かんきょう市民の会 小西 信生 氏 寄稿)



▲教室でのオリエンテーション

当会の環境学習は、市立小学校3年生の総合学習の時間に自然観察のお手伝いをしています。

学習内容は、学校のまわりで見られる樹木や野草、昆虫、野鳥などの観察です。府中市内には、学校のまわりの自然状況に応じて、多摩川や府中崖線の自然など、さまざまな自然が存在しています。

小学校の前の堤防の中には、大きな桑の木が何本も自生しており、かつて府中市のあちこちで桑を植え、カイコを育てて、絹糸産業の一端をになっていたことを思い起こさせますし、そうした大きな桑の木は少なくなっても、公園や空き地のあちらこちらに、幼木を見ることができます。

桑（マルベリー）の実を野鳥が食べ、実があちこちにまかれたものようです。そんな豊かな自然が、小学校のそばにあるのが府中市です。

どこにどんな自然があるか、どんな関連があるか、忙しい学校の先生に代わって私たち市民団体がお手伝いできる環境があると言えます。

新型コロナウイルス感染症の対応をしながら、活動を続けています。

子ども達は9～10才ですからまだ、ワクチン

を打てる年齢ではありません。私たちは、マスク、うがい、手洗い、検温、などを実施しての活動を続けています。

■自然学習教材としての裏山 (武蔵台緑地保全ボランティア 三宅 昭 氏 寄稿)

武蔵台緑地と武蔵台公園は、府中市北側の国分寺崖線付近にあり、北側の台地部分に都立総合医療センターがあり、崖線下には武蔵台小学校と府中第七中学校があります。言い換えれば、この二つの学校の背(裏山)には市内有数の自然環境が残された緑地があるのです。また、この緑地は、北側の医療センターや近隣の住民、周辺の保育園、幼稚園の子どもや大人の散策コースになっています。

この緑地の恵まれた自然環境を利用して学校の授業では、春の「キンラン」、「ギンラン」などの花や、貴重植物の「トンボソウ」などの観察をしたり、緑地の清掃活動による枯れ枝除去などを行いながら植物観察の授業を行っています。また、雑木林の中には東京都絶滅危惧植物の「ヤマラン」など特有の植物もあり、緑地の豊かな自然を最大限生かした学習ができます。

このほかにも、近隣の子どもや大人たちは武蔵台公園で開催される森キッズクラブ（環境保全活動センター事業）などのイベントで、葉っぱを使った染物や草笛などを教わり、都会に残る自然の四季を満喫しています。このようにこの緑地は、浅間山とならぶ府中市に残る自然観察ができる貴重な場所として保護していく必要があります。



▲武蔵台緑地での活動

環境保全活動センターでは学校の環境学習の支援を行っています。活動センターサポーターや登録市民団体など、いろいろな方が、それぞれの経験や知識で対応します。学校関係の方で環境学習の支援を考えたなどご要望がありましたら、ぜひ、活動センターにご相談ください。出来る限りご要望に沿います。

お問合せ先は、4ページ「府中市環境保全活動センター」へ。電話・メール等でご連絡ください。

環境保全活動センターの子ども向け事業紹介

環境保全活動センターでは、子ども向けの環境学習イベントも開催しています。これまで年間に4回程度、次のようなイベントを開催しています。

自然環境を考えるヒントとして、春には武蔵台公園、秋には浅間山公園で、自然の草木を使った工作や染物など一日自然の中でクラフトを楽しむ「森キッズクラフト」をオープンしています。また、夏休みには、親子で環境について考えるバスツアーを開催し、普段はいけなところへ探検気分です。秋の終わりには、ふれあい農園の参加者に自分たちで育てた野菜を使ったエコクッキングの体験で、取れたての新鮮な野菜を使いながら、調理のエネルギーや食材のロスを少なくしながらおいしい料理を作ります。



▲森キッズDAY in 武蔵台



▲親子かんきょう塾 夏休みバスツアー

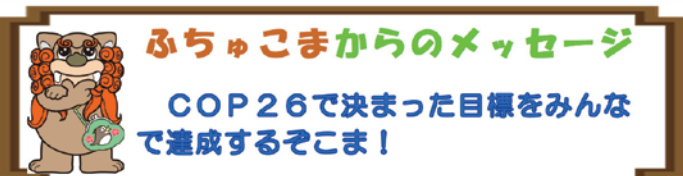
今年度はコロナ禍の影響もあり中止したイベントも多くありました。そんな中でしたが新しく「ドングリde森づくり」を開催しました。これは市内の公園などで多く発生している「ナラ枯れ」という現象によりコナラやクヌギがどんどん枯れています。枯れた木からはこの現象を引き起こすカシノナガキクイムシが多くの木に移り広がることから、枯れた木を伐採焼却処分をしています。気づかれた方もいると思いますが、浅間山でもナラ枯れによってどんどん木が切られています。以前のような山に戻す手助けをみんなでしようというものです。これは以前の山の姿に回復するため、浅間山で拾ったドングリを苗木に育て、また山に戻すという森づくりをはじめました。多くの子どもたちの参加をお待ちしています。



▲親子でエコクッキング



▲森キッズ
～ドングリde森づくり～



府中市環境保全活動センター

環境保全活動センターは、環境保全活動機会の提供及び環境問題に関する相談等を通じて、市民、事業者及び学校等が行う環境保全活動への取組みを支援しています。

■所在地 〒183-8703

府中市宮西町2丁目24番地
本庁東庁舎7階

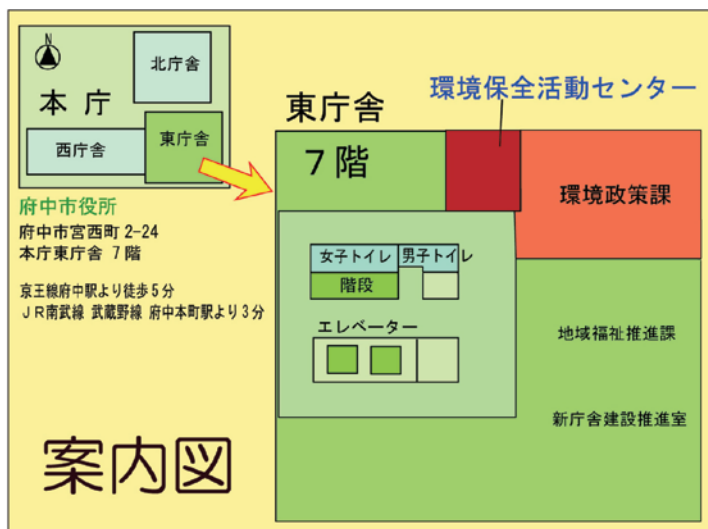
■電話番号 042-335-4410

■利用時間 午前9時から午後5時

■休業日 土曜日、日曜日及び祝日、年末年始
(12月29日から1月3日)

ホームページ <http://fuchu-kankyo.com/>

メールアドレス mail@fuchu-kankyo.com



【編集後記】

環境保全の活動を含め、各種のボランティア活動をしているとき、ちょっと気になるのは、何か事故にあったらどうしたらいいか、ということです。

私たちはボランティア活動での事故を想定し、「ボランティア保険」に入っており、その他一般市民も参加する事業ではイベント保険にも加入しています。

多くの市民の方々が、気軽にボランティア活動に参加でき、もし何かの事故に巻き込まれてしまったときも、状況に応じて見舞金などが支出されるようになっているといいのに、と思っています。

(編集委員 N・C)

発行日 令和4年1月25日

編集・発行 府中市環境保全活動センター
広報活動部会

次回発行予定 令和4年4月

